

第6回鎌倉市総合計画審議会 議事録

- 日 時: 令和6年(2024年)12月17日(火)午後3時から午後4時36分まで
- 場 所: 市役所第三分庁舎 講堂
- 出席委員: 木村委員(会長職務代理者(以下「会長職代」という。))、長尾委員、市川委員、波多辺委員(オンライン参加)、大津委員、田中委員、新津委員、雨宮委員、亀山委員(オンライン参加)、村山委員(オンライン参加)、掛川委員
- 欠席委員: 高木会長、内田委員、小泉委員、海津委員
- 幹 事: 共生共創部長、共生共創部次長(企画課所管)、共生共創部次長(政策創造課所管)、企画課長
- 事務局: 企画課課長補佐兼担当係長、企画課担当係長、企画課主事2名、政策創造課担当係長
- 関連職員: なし
- 傍聴者: 6名
- 会議次第:
- 1 議題
 - (1) 審議
 - ア (仮称)第4次鎌倉市総合計画のリーディングプロジェクトについて
 - イ (仮称)第4次鎌倉市総合計画リーディングプロジェクトの取組について
 - ウ (仮称)第4次鎌倉市総合計画の施策体系案について
 - エ (仮称)第4次鎌倉市総合計画の施策体系案とSDGsについて
 - (2) その他
- 配付資料
- 次第
- 資料1 (仮称)第4次鎌倉市総合計画の施策(案)について
- 資料2 (仮称)第4次鎌倉市総合計画基本計画施策体系案と現基本計画の施策体系との対照表
- 資料3 (仮称)第4次鎌倉市総合計画基本計画策定に係る施策の「目標とするまちの姿(案)」
- 資料4 (仮称)第4次鎌倉市総合計画基本計画施策体系案とSDGs 突合表案(R6.12.17時点)
- 資料5 令和6年11月19日開催の第5回鎌倉市総合計画審議会議事録(案)
- 参考資料1 第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画(現行計画)施策体系図
- 参考資料2 第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画(現行計画)とSDGsの対照表

○会議記録:

会長職代 ただいまから、第6回鎌倉市総合計画審議会を開会します。

まず、事務局から報告があります。事務局、お願いします。

事務局 本日、現時点で11名の委員の方に御出席いただいていることから、鎌倉市総合計画審議会規則第3条第2項の規定により、委員会として成立していることを報告します。

続きまして、本日の資料の確認です。本日の資料は、次第、資料1「(仮称)第4次鎌倉市総合計画の施策(案)について」、資料2「(仮称)第4次鎌倉市総合計画基本計画施策体系案と現基本計画の施策体系との対照表」、資料3「(仮称)第4次鎌倉市総合計画基本計画策定に係る施策の「目標とするまちの姿(案)」」、資料4「(仮称)第4次鎌倉市総合計画基本計画施策体系案とSDGs 突合表案(R6.12.17時点)」、資料5「令和6年11月19日開催の第5回鎌倉市総合計画審議会議事録(案)」、この他、参考資料として、参考資料1「第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画(現行計画)施策体系図」、参考資料2「第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画(現行計画)とSDGsの対照表」を配付しておりますので、御確認ください。

また、資料3の取扱いについて御協議をお願いしたく存じます。

資料3は次期総合計画の各施策の「目標とするまちの姿(案)」となっています。こちらについては、現段階では未成熟な内容であることから、本審議会終了後、資料を回収させていただきたいと考えております。

資料の取扱いについて、御協議をお願いします。

会長職代 ありがとうございます。まず、お手元の資料は揃っていますでしょうか。事務局の方から御説明がありました資料3の取扱いですが、未成熟な内容であるということで、資料を回収させていただきたいというお申出がありました。御了承として、よろしいでしょうか。

（ 委員了承 ）

会長職代 ありがとうございます。では、そのように取扱いさせていただきます。
続いて、本日の傍聴希望について、事務局から御説明をいただきます。

事務局 本日、6名から傍聴のお申出をいただいております。
傍聴者の取扱いについて、御協議をお願いします。

会長職代 傍聴者の取扱いについて、特に問題がなければ、ここから入室を認めようと思いますが、よろしいでしょうか。

（ 委員了承 ）

会長職代 傍聴者の方に入室いただきます。

（ 傍聴者入室 ）

会長職代 傍聴者の皆さんに申し上げます。会議中は静粛をお願いします。
また、発言、会議の録音・録画・撮影は認められませんので、よろしくお願いします。
また、資料の取扱いについても申し上げます。
審議会での協議の結果、本日の資料のうち資料3については、現段階で未成熟な内容であることから、本審議会終了後、資料を回収させていただくこととします。
なお、メモをお取りいただくことは構いません。

会長職代 それでは本日の議題に入ります。

議題1「(仮称)第4次鎌倉市総合計画のリーディングプロジェクトについて」事務局から説明をお願いいたします。

事務局 本日の議題については、資料1を軸に、必要に応じて他の資料を御覧いただきながら進めさせていただきます。

それでは、議題1「(仮称)第4次鎌倉市総合計画のリーディングプロジェクトについて」説明します。

2ページを御覧ください。

本件については、前回の本審議会の最後に説明しましたが、改めて説明いたします。

御覧いただいている資料の点線より上部で基本構想について、点線より下部で基本計画についてまとめています。

そして、前回までに御議論いただいた基本計画の基本方針である「自分らしく共創できる環境づくり」にあたり、まず、リーディングプロジェクトとして、主に「学校教育」や「子育て」など、“こども”を主語とした取組を位置付けます。

こどもたちが育ってよかったと思う環境づくりという視点で、こどもを軸としながら必要な施策に先導的・戦略的に取り組むことで、地域の担い手になる世代が発芽し、その世代とともに共創する地域により、地域コミュニティの活性化や地域福祉の推進、地域防災力の強化など、都市経営に必要なあらゆる施策の持続可能性につなげ、それが基本構想の将来目標の実現にもつながると考え、こうした取組をリーディングプロジェクトに位置付けます。

前回までに御議論いただいた基本構想の将来目標並びに基本計画の基礎条件及び基本方針を踏まえたこのリーディングプロジェクトにつきまして、御意見をいただければと存じます。

以上で説明を終わります。

会長職代 ありがとうございました。資料1の2ページ目、(仮称)第4次鎌倉市総合計画の全体像案とリーディングプロジェクト案についての御説明でした。この記載内容につきまして、御意見・御質疑等はございますでしょうか。

委員 一つ事務局の方に確認で、言葉のところの定義で、せっかくなので共有いただきたいと思います。主に「子育て」という言葉は一般的かなと思いますが、今回ここで「子育て」という言葉をお使いになっているというところで、ここにこだわる点をぜひこの場で皆さ

んに共有いただければと思います。

会長職代 資料の右下の図のところに、「子育て」とあって、“こども”を主語というふうに説明がある部分のお考えについて、事務局から御説明をお願いします。

事務局 ありがとうございます。今まさに御紹介いただいた通り、一般的にこれまで「子育て」という言葉を使ってきました。「子育て」ですね、育てるという点でその施策の対象というのは保護者であったり、そのこどもたちの周りの方々になろうかなと思います。今回、このリーディングプロジェクトに位置付ける取組の対象となる方々については、こどもにしたいと思っています。もちろんそのこどもが育つための保護者ないし、周りの方々の環境整備というのは、この後の議題3の施策体系案のところで説明しますが、そういった施策体系に基づいて当然取組を行っていきます。あえてこの先導的、戦略的なリーディングプロジェクトの取組の相手といいますか、対象という方については、お子さんにしたいという思いで、教育は当然お子さん対象になります、あえて子育てとする部分については、「子育て」という表現にさせていただいているところでございます。

会長職代 あえて御説明いただくことで、その考え方をこの場でしっかり共有しておこうという、そういう御趣旨での御説明だったかと思います。米印にありますとおり、こどもが主語であるということで、「子育て」という言葉を使用しているというお考えを御説明いただきました。

その他、ございますでしょうか。

会長職代 「(仮称)第4次鎌倉市総合計画のリーディングプロジェクトについて」は、御了承ということで確認してよろしいでしょうか。

(委員了承)

会長職代 議題2「(仮称)第4次鎌倉市総合計画リーディングプロジェクトの取組について」事務局から説明をお願いいたします。

事務局 議題2「(仮称)第4次鎌倉市総合計画リーディングプロジェクトの取組について」説明します。

資料1の3ページを御覧ください。

市が取り組む具体的な事業については、行政側において決定するとともに、必要な予算については、毎年度予算化し、議会の議決を頂戴するものであることから、基本計画に搭載するものとして、本審議会でも1つ1つ確認することは馴染まないと考えております。

しかしながら、特にリーディングプロジェクトについては、具体的な事業を行うことによる成果・効果、つまりゴールを御確認いただき、それに基づいて事業構築を行いたいため、現時点でロジックモデルを作成しました。

本ロジックモデルでは、最終アウトカム、ゴールを、「こどもたちが、このまちで育ってよかったと思える環境が整っている」とし、それに向け、教育の視点で「こどもたちが学びの火を灯し続けている」を、子育ての視点で「こどもたちが健やかに成長し、自分らしく幸せな生活を送っている」という中間ゴールを設定しました。

そして、直接的な成果・効果として、教育に関しては、「新たな時代に対応した学びの実現」や「生涯学習・体験学習の機会充実」「安全で安心できる豊かな学校教育環境の整備」などを、子育てに関しては、「こどもの権利と主体性・多様性の尊重及び意見の反映」や「多様な遊びや体験・交流の機会の創出確保」「こどもの安全安心な生活環境の確保」などを設定しました。

将来、地域に関わり、共創しながら地域をつくってくれるようになるために、こどもたちに打つべく施策として、必要な視点が欠けていないか否かについて、御意見を頂戴できればと存じます。

なお、最終的にリーディングプロジェクトの取組として位置付ける内容については、本日の御意見を頂戴したうえで絞り込むことも検討しておりますことを申し添えます。

以上で説明を終わります。

会長職代 ありがとうございます。今、御説明いただいたページですけれども、右側にあることが、施策事業の結果として出てくると、その結果がどのような成果に繋がっていくか、それがだ

んだん抽象化して、最終的には左端にあります最終アウトカムというところにたどり着くという、こういうのをロジックモデルと言ったりしますが、その御説明をいただきました。

この最終アウトカムのところに記載のある、「こどもたちが、このまちで育ってよかったと思える環境が整っている」というのは、先ほど前のページで御説明いただいた図の一番真ん中のところで、「育ってよかったと思える環境の整備」とありますけれども、ここに繋がってくるということになるロジックです。何か足りない視点とかですね、書いてあることの御不明な点などございましたら、御意見をいただければと思います。

それから、前のページのことも含めて、リーディングプロジェクト全体について御意見ございましたらお出しいただければと思います。

委員 今おっしゃられた、その視点が欠けているかというお話ですが、ちょっと逆に書き過ぎてないかなという感じがします。視点を一生懸命探すばかりに全部網羅的になっていて、イントネーションがちょっと欠けているのではないかなというのが心配です。例えばですね、真ん中の直接アウトカムのところの3番目と4番目、「多様性を尊重した学びにより共生社会が共創されている」というところと、「学習者中心の学びを支える環境が整備されている」、何か同じことを言っているような気がするのですが、この学習者って何でここに出てきたのでしょうか。こどもたちという言葉がずっと出てきたのに、ここだけ学習者とあっても、少し変なのですが、何か同じようなことをわざわざ分けて、視点が落ちていないかを気にしすぎているという感じがするのですが、いかがなものでしょうか。

会長職代 ありがとうございます。それでは事務局から御説明いただきますが、今の上から三つ目の「多様性を尊重した学びにより云々」というのは、右側を見ますと、インクルーシブ教育から繋がってきていると、「学習者中心の」という四つ目のところは学校教育環境から繋がってきていると、そういう整理になっているかと思いますが、事務局の方から今の委員のお尋ねについて御説明いただければと思います。

事務局 ありがとうございます。あくまでもたたきとして作るなかで、この学習者等々、それから多様性を尊重した学びのことににつきましては、先ほども申し上げました、現在策定作業を進めております教育大綱で、政策の柱として立てている四つの柱があるのですが、その文言をそのまま持ってきたというところでございます。

委員、もし補足いただければ、よろしいでしょうか。

委員 現在、来年4月の策定に向けて、教育大綱を教育委員会でも検討中ですが、教育委員会の教育大綱の一旦の範囲は、生涯学習も含めておりまして、お子様から生涯学習する方々全てを対象としております。その中で、誰もが学びの灯を保ち続けながら、生涯にわたって心豊かに生きることを目指すということを大前提とした教育大綱を作っているのですが、大綱の中に4つの柱があり、その対象に生涯学習が含まれておりますため、少し被りのような形で、「学習者中心の学びを支える環境」というのは、主にこどもたちが自分から学び出したいといったところを支える環境が必要だよねということですか、「多様性」という意味では、先ほど生涯学習のところに視点をぐっと寄せている形になりますので、一旦たたきというふうには先ほど事務局からもお伺いしましたけれども、この教育大綱が、今ある程度出てきた言葉を4つ並べていく中の、言葉がまだまだ整っていないという前提があるというふうには考えております。しかし、この最終的なアウトプットのところの施策につきましては、ある程度具体になっていますので、この具体から少し直接アウトカムの言葉をいじるということは必然ではないかなと考えます。

委員 おっしゃることはよくわかるのですが、ずっとこども中心プロジェクトということできているのに、ここで急に学習者という言葉に置き換えてしまっているのがちょっと気になります。

委員 今、教育大綱の言葉を挙げているだけと言ったら大変失礼ですが、そこはまずわかりやすいように挙げてくださっているのではないかと理解しておりますので、この言葉が最終形ではないと思います。

会長職代 事務局からいかがでしょうか。

事務局 ありがとうございます。少し補足をします。このリーディングプロジェクトの最終ゴールから

ブレイクダウンしています。ロジックモデル自体は掲載するかわかりませんが、表現するにあたっては、なるべく、教育のこと、子育てのこと、というように分かれるような形には、最終的にはしないようにしたいと思っています。そういうのは複合的に兼ね合わせながら、この最終アウトカムに繋がる中間ゴールというものを最後に表していきたいというふうに思っておりますので、そういった視点で、あくまでも本日は皆様の御意見をいただく材料としての一時的な整理ということで御理解いただければと思います。

会長職代 他に御意見等ございませんか。委員、お願いします。
委員 2点あります。

1点目はこどもを中心とするリーディングプロジェクトですが、こどもといっても生まれたばかりの赤ちゃんから高校生までいて、それぞれやはり必要となること、あるいは必要な政策が異なると思うのです。それについて、リーディングプロジェクトなので、あえて分けて細かく議論してもいいのかなと思ったのが一つです。

もう一つは、私、都市計画をやっておりますので、このアウトプットでいうと、一番下の「こどもの安心安全な生活環境の確保」というところを、どうやってハードウェアからサポートするかというところが仕事なのですが、例えば、道路に歩道が整備されていないので道路の再整備とかですね、あるいは小学生以上になると多分自転車でいろいろと動いたりするので、自転車レーンの整備とか、それから夏は暑くなるので街路樹を植えましょうとか、そういうインフラの話や、それから住まいそのものについてのこどもがいる世帯の住環境等についても気になることがあって、実は生活環境という言葉の中に様々な要素があるのです。上に列挙されている学習とか体験等は結構細かく書いてくださっているのですが、ハードウェアの整備が逆に全部まとまってしまっているのもう少しきめ細かく分けてもいいのかなというふうに思いました。以上です。

会長職代 委員、どうもありがとうございます。

2点の御指摘がありましたので、それぞれ分けて御回答いただきたいと思いますが、一つ目は、こどもといっても0歳から15歳になるかわかりませんが、ターゲットが多様であるということで、その辺を分けて細かく検討していくということにつきまして、御見解をお願いします。

事務局 ありがとうございます。整理の視点としては、世代で分けていくというのは当然あるかなと思います。ただ、あくまでも対象がその保護者とか、周りの方ではないというところだけはあまりブレたくないかなというところが一点、前半の御質問に関してはあるかなと思っております。

会長職代 リーディングプロジェクトの構成内容を事業レベルで検討させていくときに、この辺のところは当然やらせていただけるというようなお考えでよろしいでしょうか。

事務局 結構でございます。

会長職代 2点目のアウトプットの一番下に、「生活環境の確保」とあるのですが、生活環境といっても様々な要素があるのに対して、ここは1項目になっていて、教育関係については大変細分化されて示されているが、ここら辺はどのようにお考えかということについて御回答をお願いします。

事務局 ありがとうございます。こどもに大変関係性が深いものに特化して示していくというのはあるかなと思っております。ただし、実はこども計画の方もそうなのですが、こどもという視点で市の行政施策を再整備しているようなこともありまして、因果関係といいますか、その距離感、ないしは関連の濃度というものをどこまで取るかというのは大変難しく、薄めてしまうと、実はこどもを主語にした市の行政施策で全てを繋げることを、しようと思えばできてしまうというところでいくと、ここでは今お話のあった、例えば自転車ですとか、道路といっても歩道ですかね、お子さんたちが通る通学路とかそういった用途の高いものはいいかかなと思うのですが、その点はちょっとロジックモデルでもすぐに繋がるようなものに特化したいという思いを持っているところでございます。

会長職代 委員、今の事務局の御見解はいかがでしょう。

- 委員 1点目については承知しました。
- 2点目、御回答についてはよくわかりましたけれども、多分、前の2ページの下に、いろいろな形で円が重なった図がありますけれども、今考えているのは、このピンクのリーディングプロジェクトの部分ということなのですが、やはりこれがリーディングプロジェクトであれば、逆に周りの施策でリードされる施策というがあるので、リードされる方としてどういうサポートをすれば良いのかということについても、ぜひこれから検討して、総合計画にうまく説明できるといいと思いました。私が申し上げた生活環境の細かい話というのは、どちらかというと、まち全体の環境の整備という一番外側にあるものですから、このピンクのところをリードする、まちの環境の整備というのはうまくリードされると捉えると、どういうところがリードされるべきなのかというところの説明がポイントかなというふうに思います。これは意見です。よろしくお願いします。
- 会長職代 ありがとうございます。その他、御意見、御質問等ございますか。
- 会長職代 私、今日、進行役を務めています、一つよろしいですか。
- このリーディングプロジェクトをどういうふうに構成するかという段階での話ではないのですが、これを具体的に事業化していくにあたって、このロジックモデルはすごく意味を持つものだと思うのです。本題は、成果が出たかどうかをどうやって測るかという観点で見たときに、こどもたちが主語であることを徹底すると、こどもたちに聞くのかとか、どうやって測るのだろうということが気になって仕方ないのです。ですから、このリーディングプロジェクトの構成内容に意見ということではなくて、この事業レベルで展開していくにあたっての運用をどのようにしていくか、どのように成果を測定するかということについては、それなりに慎重に進めていただきたいなというふうに思います。よろしくお願いします。
- 事務局 ありがとうございます。今の会長職代の御心配はありません、とお答えできるものは正直持ち合わせておりませんけれども、やはりこどもたちの意見を聞いていくということが大変重要視されていますし、いくつかトライをしている取組もありますので、そういった取組等々を兼ね合わせながら、測れるものをとっていきたいというふうには考えております。
- 会長職代 ありがとうございます。
- それではここまでの御意見を一回おさらいしますと、まず一つは緑のところに書いてあるものと、このロジックモデル全体が教育大綱を尊重しながら構成されているということがあり、こどもというフィルターをかけたところでは、ちょっと外れるかもしれないというものも内容に今出てきている状況なので、このこどもというフィルターで再構成するということは今後の余地としてあるということが確認されたものと思います。
- それから教育ということについてかなり幅を占めているわけですが、委員の御指摘のように、その生活環境をどうするかということについても、当然のことながら調整が必要になるかと思しますので、こちら辺をこのロジックモデルレベルでどういうふうにするかということについても、御意見を踏まえて、調整をしていただきたいということが御意見としてあったというふうにまとめておきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
- 会長職代 それでは、「(仮称)第4次鎌倉市総合計画リーディングプロジェクトの取組について」は、了承ということで確認してよろしいでしょうか。
- (委員了承)
- 会長職代 それでは次の議題に移ってまいります。
- 議題3「(仮称)第4次鎌倉市総合計画の施策体系案について」事務局から御説明をお願いします。
- 事務局 議題3「(仮称)第4次鎌倉市総合計画の施策体系案について」説明します。
- 資料1の4ページを御覧ください。
- 新総合計画の施策体系案です。この施策体系は、令和5年度に実施した全庁ヒアリングを踏まえて作成したものです。
- 現行の計画の施策体系は、参考資料1のとおり、6つの柱と計画の推進に向けた考え方で構成していますが、今回は、「ひとづくり」「暮らしづくり」「まちのかたちづくり」の3本を軸

となる柱とし、それを下支えする「計画推進体制」で構成しました。そして、「防災」と「温暖化対策」を、全ての施策の横串を刺す施策に位置付けるとともに、「平和」と「共生共創」を全ての施策に通ずる考え方とします。

なお、資料で下線を引いている施策は、目標や現状と課題を踏まえた取組等を明らかにする施策とします。

これらの施策と現行計画の施策との比較は資料2のとおりであり、資料3では、新たな各施策の「目標とするまちの姿」、つまり、最終ゴールの案をお示ししております。

一つまでの議題でも説明した通り、市が取り組む具体的な事業については、行政側において決定するとともに、必要な予算については、毎年度予算化し、議会の議決を頂戴するものであることから、基本計画に搭載するものとして、本審議会で一つ一つ確認することは馴染まないと考えておりますが、他方で、事業構築にあたり、各施策の最終ゴールとして必要な視点が欠けていると、必要な事業もこぼれてしまいます。

そこで、新たな施策体系についてお気づきの点、そして、各施策の最終目標として必要な視点が欠けていないか、欠けているとすればどういった点の補充が必要か、御意見を頂戴できればと存じます。

以上で説明を終わります。

会長職代 ありがとうございました。

ただいま事務局から御説明がありました部分やその他この議題全体について、御意見・御質疑等はございますか。

会長職代 話すきっかけとして、私から始めさせていただきます。

現計画の施策体系から、あえて今回意図をもって組み直しをしたといったような部分があれば、その御説明をいただけますでしょうか。

事務局 分野の分けということではないのですが、参考資料の1を御覧いただきまして、一番上に第1章の人権尊重シートはオレンジですね、その横に分野というものがあって、そこに「平和」と「人権」と「多文化共生」とあるのですが、同じ粒単位でその下に、「歴史環境」とか「文化」とか「みどり」とか「都市景観」とか「生活環境」、下の方に降りていきますと、具体的な「道路整備」ですとか、「下水道・河川」というふうに並んでおります。ただ、やはり平和都市宣言を全国に先駆けて作った本市として、この平和というのは、例えばみどりだとか、道路だとかと横並びになるような施策ではないだろうということで、今回あえて少し上のところで全てにかかる概念ということにさせていただいたというのが一点です。併せて人権とか多文化共生の部分も同じような考え方で、表題「共生共創」とさせていただいていますが、同じように他の施策と横並びにしないというのが、まず今回視点の大きな変更点の一つになります。

それから横串を刺すという点では、参考資料1の右側に「計画の推進に向けた考え方」といって、現行計画で「市民自治」、「行財政運営」、「防災・減災」、「歴史的遺産と共生するまちづくり」という4つのものを、全ての施策に横串を刺す考え方として、第3期、平成26年から位置付けたのですが、今回、横串に関しては、やはり昨今の防災ですとか温暖化対策という、本当に特定の一個の施策だけでは解決できない要素が多分に含まれているこの二つについて横串を刺すということにしました。最後、これまで「市民自治」とか「行財政運営」は、横串を刺すもので、現行でいうと、「防災・減災」と同じように挙がっていたのですが、これらについてはあくまでも計画を推進するため、また一つの別のくくりでまとめるべきということで、「ひとづくり」、「暮らしづくり」、「まちのかたちづくり」とは別に、「計画推進体制」というところで整理をしたというのが、今回整理に当たって一番大きな視点でございます。

あとは6本柱が多いか少ないかというところでいくと、シンプルにひと、暮らし、まちのかたちの3本ぐらいにした方がわかりやすいかなということで、3本柱にしたところなんです。こだわった視点が結構多くて申し訳ないのですが、かなりそういう姿勢で抜本的に変えてきたというところでございます。

- 会長職代 ありがとうございました。今御説明いただきましたことも含めまして、皆様、御意見を願います。委員、どうぞ。
- 委員 施策体系案のところで、総合計画は基本構想、基本計画、実施計画、3層に分かれているのは当然皆さんよくわかっておられるように、ここに書いてある施策体系案というのがどこに位置するのか、最初ちょっとわかりづらかったです。参考資料の1、これを最初に説明をしていただくと、どこにどういうふうになっているのかが非常にわかりやすいのではないかなというように感じました。
- リーディングプロジェクト案については、これは影響があるのですが、この体系案というのは、今までの3層構造の中でどこに位置しているのかを最初に説明してくれた方がわかりやすいかなというように感じました。
- 基本計画、こちら参考資料ですからこれからなのではと思いますが、どういうところを変えていこうと思っているのか、たいして変わらないのか、そこら辺も伺いたいです。
- 実施計画については、これは予算が絡むことなので、市の方で実際に携わっている原局の方で計画を出していく形になろうかと思いますが、それについても今後いろいろ挙がってくるとは思うのですが、こんな感じでやっていきたいとか、だいたいの話になるのかもしれませんが、この会議で十分に説明をしていただきたいなと思っております。以上です。
- 会長職代 委員、ありがとうございました。
- 参考資料1にありますものが、左端に基本構想のところに、下に将来目標となって第1章から第6章の目標が掲げられていると。これにそっくりな形で、基本計画では分野別にまず分かれ、それが施策の方針というふうに、2、3に分類されているという形になっているものに対して、本日の御説明をいただいた施策体系案というのはどのように読み取ればいいのかということをまず御説明をいただければと思います。
- 事務局 こちらは前回にお示ししたものになります。全体の関係を入れて、施策体系も絵にはめ込んだのですが、なかなか縦だと見にくいかなと思い、今回、横にする中で消してしまいました。申し訳ございません。基本構想の基本理念、将来都市像、それを実現する将来目標がありまして、基本計画の基本方針という枠の中に、まずもってリーディングプロジェクトがあり、そのリーディングプロジェクトの背景となる土台となるところについて施策体系に基づいて粛々と進めていくという関係にしようとしてございます。最終的な形、計画冊子はわかりやすいデザインに改造していこうと思っております。本当にあまり技量のない私が作っているパワポで申し訳ないのですが、そこはわかりやすいものにしていきたいというふうに思っております。一つ目については以上でございます。
- 会長職代 今の御説明について、解釈としては、将来目標というのは、基本構想レベルでまさに御了承いただいているものがあります。従来この3次のときには、この基本構想で掲げられた将来目標という1章から6章にそれぞれ即する形で分野が設定され、施策の方針が立てられているけれども、今回作っているのは、将来目標は、将来目標として、総合的なものとしてあって、基本計画でその3つの将来目標を踏まえて、施策体系として基本計画で構成していく、その一番大きな柱立てを今、資料で御説明いただいたということで、そのような関係だという理解でよろしいでしょうか。
- 委員 わかりました。
- 事務局 失礼しました。確かに現行計画は基本構想と将来目標に沿って、そこに一对一の形で基本計画の施策体系の分野というものを位置付けてきましたけれども、これに関しては課題があることが30年間現行計画をまわしていく中でわかってきましたので、今回は基本構想も将来目標としてまず共生を軸にして3つ立てます。施策体系は、基本構想は一对一で呼応するのではなくて、施策体系全体でその将来目標を一つずつではなくて、将来目標を3つのいずれかを施策体系に掲げると、取組全体で解決を図っていく、一对一の関係ではなく、相互に複合的に関連させるという関係にしたいというふうに考えまして、あえて上から綺麗に1本で繋がらないような形にしたという方向でございます。
- 会長職代 委員、それから会場にいらっしゃる委員の皆さんには御理解いただけたでしょうか。それ

では委員、お願いします。

委員 理解いたしました。

とっても細かいところを一つだけすみません。資料2と資料1の4ページのところの言葉がちよっと合わないのが、個人的に気になっておりまして、「ひとづくり」なので資料2の 01 番は「ひと」と記載されていて、「暮らしづくり」で、資料2では 02 番が「生活」というふうに記載されていて、「まちのかたちづくり」で資料2では 03 番が「かたち」とあり、02 番 03 番はせっかくなので言葉を合わせたらどうかと思いました。

事務局 修正漏れです。失礼いたしました。お手元の資料2の左側の3本柱でずっと作ってありましたのが、パワポの方に途中から直っていったというところなんです。修正が反映できておりませんでした。基本的にはパワポの方の柱の名称、今はその名称にしようと思っております。申し訳ございませんでした。

会長職代 その他、いかがでしょうか。

行政の御説明では、しばしば、横串を刺すという表現がありますけれども、その防災というのは、全体にわたって防災という観点での企画をしていかなければいけないという強い意志によって、温暖化対策も同様で。ただ最も狭い意味での防災、あるいは温暖化対策といったことは、この暮らしづくりのところにある消防であったり、生態系保全だったというところで、具体的に事業が行われている。ただ、他の分野でも防災と温暖化対策はことほどさように対応していかなければいけない。そういうことが一様にされているというふうに理解しておきたい。

オンラインの委員の皆さんよろしいでしょうか。会場の委員の皆さんよろしいでしょうか。

会長職代 議題3の「(仮称)第4次鎌倉市総合計画の施策体系案について」は、手直しをする部分、あるいは説明を補足してもっとわかりやすくしていただく部分もありますけれども、内容については御了承いただいたということでよろしいでしょうか

(委員了承)

会長職代 ありがとうございます。

ただ今資料の説明をいただいて、御意見を頂戴したところでありますけれども、この委員会終了後に、委員の皆様のご意見がございましたら、今週中であれば、事務局まで御意見をお届けいただければ検討したいというふうに事務局からお申し出をいただいておりますので、そのようにお願いしたいと思います。

会長職代 それでは次に、議題4「(仮称)第4次鎌倉市総合計画の施策体系案と SDGs について」ということになります。事務局から御説明をお願いします。

事務局 議題4「(仮称)第4次鎌倉市総合計画の施策体系案と SDGs について」説明します。
資料1の5ページを御覧ください。

御案内のとおり、本市は平成 30 年6月に SDGs 未来都市に選定され、現行の基本計画から、参考資料2のとおり、各施策と SDGs の関係を整理しているところです。

新総合計画においても、計画と SDGs の関係を明らかにすることとし、その考え方について説明するものです。

新総合計画においては、各施策と SDGs の関係を整理する視点を、「それぞれの施策を推進することで達成に寄与できる SDGs のターゲットが属するゴールと各施策の関係を明らかにする。」こととします。その結果は資料4のとおりです。

今回、このように整理した理由ですが、SDGs の視点を、本市の施策の構成内容の点検・立案で活用したいと考えているものです。つまり、各施策について、紐づかない SDGs の視点から点検することで、必要な取組に修正していきたいと考えているため、従来よりも、その突合を厳格にしたものです。

このような整理について、御意見を頂戴できればと存じます。

以上で説明を終わりますが、本件については、会長の御助言を踏まえておりますので、会長からも一言いただくところではございましたが、本日、体調不良で御欠席のため、その辺も御了解いただいた上で、皆様の御意見を頂戴できればと思います。

会長職代 先にお聞きするのですが、この SDGs の関係付けについては、今後協議するという余地はありますか。

事務局 はい、まだ時間はありますので、できると思います。

会長職代 それでは今日は専門の会長がいらっしゃらないのですが、今日御説明いただいた限りで御審議をいただきまして、また機会を見て、会長のいらっしゃる場面で、御審議いただければと思います。本日の段階でお気づきの点がありましたら御発言ください。

委員 委員、どうぞ。

委員 質問ですが、例えば、資料4の「スポーツ・レクリエーション」のところで、3番の「すべての人に健康と福祉を」に丸がついていない理由で、どんな理由で丸がつかないのかというところをお伺いしたいです。一般的にスポーツ・レクリエーションだと、基本、健康とかに紐づくのではないかと思うのですが、なくされた理由とか、その辺は会長にお伺いするのでしょうか。

会長職代 今、委員が御指摘のところ以外にも、黒丸が全然ついていない状態が資料4にはまだありますよね。そちらも含めて御回答いただけるでしょうか。

事務局 ありがとうございます。資料を出した方がいいので、少しお待ちください。ホームページで SDGs のターゲットが出ているものを御覧いただくのがよろしいかと思いますので。

小さくて申し訳ないのですが、それぞれのゴールの中にターゲットというものがあります。例えば、3の目標のターゲットとして、3.1「2030年までに、世界の妊産婦の死亡率を出生10万人当たり70人未満に削減する。」というのがあり、3.dまであるのですが、ここに繋がるもので丸をつけました。広く見ると健康福祉はスポーツだと私も認識はしているのですが、あえてターゲットベースで今回整理をしたことで、先ほど申し上げた限定解釈をすることで付いてない部分の振り返りができる要素を増やしたいというふうに思いましたので、実はターゲットベースで見ることによって、いくつか現行では丸がついているのですが、今回の改訂版では丸がついてないものが、結構な数が出てきたということです。

会長職代 今、オンラインの委員の方からの御発言の挙手がありますが、少しだけお待ちください。

今の委員からの御質問についてですが、基本的な考え方として、資料4の縦に並んでいるそれぞれの項目に対して、何が何でもというか、関連しそうな丸をつけようという発想なのか、それとも明らかに関連するものに丸をつけるという発想なのかというのが一点で、それが資料の2番目の SDGs 主流化に繋がると思うのですが、だからと言って丸のついていないところを SDGs と絡めないでやっていくのはなんだから、そこは点検をしようという、そういう整理になっているのか、そのあたりを御説明いただけますか。

事務局 まず後者については、会長職代がお話しいただいた通りです。前半の方は、できるだけ直接的にこのターゲットに書いてある文章に繋がるものだけに丸をつけたということです。

会長職代 委員、よろしいでしょうか。

委員 SDGs 対照表の使い方は、ここからどういう施策だったり、この表に基づきながらどういう点検をされていかれたり、評価をされていたのかというところの知識がなく、質問させていただきました。

会長職代 改めて協議していただくチャンスはあるかと思います。

それでは、まず委員から御発言をお願いいたします。

委員 御説明ありがとうございます。

このあたりは、本来ですと会長が一番詳しい部分ですので、会長から後日コメントをいただいた方がいいと思うのですが、そもそもなぜこの星取表を作るのかという目的がしっかりしていないと、私の一つ前の委員からの御質問に対しても、その答えも変わってくるのかなと思いながら、お話を聞いておりました。

SDGs のターゲット、もちろんそれを目指して進めていくことは大切なのですが、ターゲットの中には必ずしも日本に、鎌倉市にふさわしいとか関連しないターゲットも多いので、あれを一つ一つ潰していくことにはそれほど意味はないのかなと個人的には思ってお

ります。

これを使うことによるメリットは、少なくとも私の考えでは、行政の縦割りをなくすために使うべきだと思うのです。というのは温暖化対策にしても、あるいは子育てにしても、どうしてもその担当する部署の方だけが自分たちで進めてしまって、実はそれをやることによって他の部署の仕事にも関連してくるかもしれないのに、そのことがお互いに気付けていなかったり、情報が共有されていなかったりとか、結果として効率の悪い進め方になってしまうことが、行政としては大きいわけですね。それを防ぐためにこれを活用するということが有用だろうと思っています。

例えば、自分が担当している温暖化対策ですと、今ゴール13が気候変動なのですが、縦をずっと見てみると、温暖化対策と防災以外に全然黒丸はついていないのですが、実は他のところにも、例えば緑地だとか、廃棄物の対策とかも気候変動に関連しているのです。そこに丸つけた方がいいなと思いながら、これを見ていたのですけれども、そうやって丸をつけることによって、環境関連の課のみならず、その景観を担当している部署の方だったり、その他関連する他の部署の方とも、これは関係するなと思ったら、情報共有しながら予算を一緒に取ったりとか、プロジェクトを一緒に考えたりしていくということに、これを使うべきではないかなというふうに考えております。一つのアイデアとして意見させていただきました。以上でございます。

会長職代 ありがとうございます。今の御意見は、この資料4を手元に見れば、横に読むというよりも縦に読むことに意味があるということかと思えます。縦に読んだときに、どのような関連付けをされるか、それが縦割りの弊害をなくしながら、基本的にゴールを目指すというようなことができるかという点と、それからターゲットに記載されていることが我が国あるいは鎌倉市に、正直世界的なゴールの表現なり、ターゲットの表現になっているので、必ずしもそこだけを見て捉えるのではなくて、ゴールについて鎌倉市なりの解釈ということをしなが、星取をしていくべきではないかということかと思えます。事務局から御回答をお願いします。

事務局 ありがとうございます。まさに委員がおっしゃっていた、使い方はどうつけていくかだと思うのですが、今回この整理をしたことで、これで絶対変えたくないとか、そういうものではないということやをまず申し上げた上で、もう1回申し上げますと、現行、丸がついていた、おっしゃっていた縦割りというものをなくすという視点で上から見ていくことをやってみたのですが、なかなかその視点でうまく行政の組織化連携ができなかったのではないかなという反省を私は持っています。ですので、むしろ今回重要視しているのは、丸がついていない方で全ての施策を点検することで、おのずとゴールからそれぞれ施策の横串が刺せるのではないかなという視点で、あえて丸がつくのが少ない手法でこの星取表を作ったというのが狙いです。

ただ一方で、ゴールも今回見れば繋がるものについて、明らかに抜けているのではないかなという御指摘があるという今の御意見を受けまして、もう1回どういう視点で突合をさせ、一方で私どもが今狙っている扱いが、活用の仕方として何がいいのかについてもう1回持ち帰りたいと思いますけど、とにかく目的として今、先生がおっしゃったことと、我々が使おうとしていることは、そんなにはずれてはいないと思っています。

会長職代 ありがとうございます。

それでは、委員をお願いします。

委員 私も委員と同じような意見でしたが、まだちょっと実は市役所の方がこの星取表を、どういう目的で作っているのかが、正直十分に理解できておりません。私は都市計画をやっていると、11番のゴールを縦に見る癖がありますけれども、これはそもそも、元の英語は「Sustainable Cities and Communities」のはずなので、「住み続けられるまちづくりを」というのは、ちょっと日本語に直したときに、内容が少し狭くなったような気もしていますが、趣旨とかを考えると、例えば「土地利用」から「海浜」までは全て丸がつくぐらい、実は大きな目標だと思うのですよね。実際、我々が都市計画の研究や実務をやるときは、必ず11とかでも気候変動もやっていて、13番は見るのですけれども、そうするとやっぱり圧倒的に丸が

足りないなというのが印象です。

丸がついていないものに対して、横断的に見てチェックするというような御趣旨だったのですが、でも普通は丸がついていればそこが一番関連しているので、そこを意識して頑張らましようと思わず、ちょっとその辺がイマイチまだ理解できていなくて、私たちが理解できていないということは、市民の皆さんも難しいということなので、少しこの辺は再検討が必要かなと思います。以上です。

会長職代 ありがとうございました。

先ほど確認させていただきましたように、SDGs との関わり、関連付けの目的であるとか、それをこのような星取表を作った後にどのように運用し、どのように効果をもたらすのか、あるいは改善に繋げるかという辺りの不明瞭さというのが、まだ理解が及ばないというところがあることが確認されたことが言えると思います。これらにつきましては会長に、またチャンスがあらうかと思しますので、引き続き議論をする機会を持ちたいということでもよろしいでしょうか。

事務局 結構です。

会長職代 ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

委員、どうぞ。

委員 先ほど、現行だと、行政の縦割りがなかなかというようなお話がありましたが、この3次の結果がどうであったかみたいなのは、ぜひ次回共有をいただけますと、私達も今の課長のお話にも信憑性が取れるかなと思っております。ぜひこの辺り、議会等にも共有いただけるとありがたいです。

会長職代 その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

会長職代 「(仮称)第4次鎌倉市総合計画の施策体系案と SDGs について」は、本日御了承いただくというわけにはいきませんので、目的の再確認を含めて、改めて協議、審議の場を設けていただくということでまとめておきたいと思います。それでよろしいでしょうか。

(委員了承)

会長職代 ありがとうございます。

会長職代 最後に「その他」なのですが、ただ今、委員から資料3について御意見ということですので、賜りたいと思います。よろしくをお願いします。

委員 資料3の「目標とするまちの姿(案)」というのが書かれているところで、目標とするまちの姿を実現するために、市の方でいろいろ取組をされておられると思います。先ほどから見させていただいて、一点だけ気がついたところがあり、質問をしたいのですが、交通のところですが、15 と 16 番ですが、15 番は歩行者の安全に限るということで、ここはわかりやすいかなと思いますが、16 番の「移動交通」のところで、これは「市民に必要な移動環境が構築され、かつ、自動車利用の抑制により交通渋滞がない」、ここでまた「歩行者が安全で快適な交通環境が実現しているまち」となっていますが、歩行者のことは 15 番で言われているので、ここは「移動交通」ということで、目的としては、市民の移動の手段が確保されているまち、みたいな目標になるのではないかなと思ったもので、すみません。

会長職代 ありがとうございます。事務局の方から御見解をお願いします。

事務局 原局のロジックツリーも見ているのですが、確かにちょっとゴールと取組も繋がっていないさそうですので、いただいた御意見を踏まえて、修正も含めて調整をさせていただきます。ありがとうございます。

会長職代 委員、よろしいでしょうか。

委員 はい。ありがとうございます。

会長職代 「移動交通」のところも含めてなのですが、先ほど申しましたように、御意見等ございましたら、今週中に事務局の方にお寄せいただければと思います。

その他、委員の皆様から本日のこの審議会について、御意見等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日の審議の4つの議題、あるいはその他につきましては以上となりますけ

れども、事務局から何かございますでしょうか。

事務局 ありがとうございます。SDGs のところ以外のほぼ概ね柱につきましては、ちょうど今年の1月 31 日からでしたけれども、約1年間かけて皆様に御審議をいただきました。柱というものが出来上がったかなというふうに思います。ありがとうございます。

年も明けますと、パブリックコメント等々も予定しているタイミングがいよいよ近づいてまいりましたので、これまで頂戴しました柱を踏まえてですね、次回は一定、冊子の形のものをお示ししたいというふうに考えております。

その過程の中で、実は昨日議会の常任委員会がありまして、報告をしたのですが、なかなか例えば基本方針の部分で御意見をいただいたりということがあります。中身自体が真っ向から否定されたということではなく、なかなかイメージがつきづらいということでした。

考え方自体は概ね御理解いただきましたが、表現につきましては、冊子に至る過程の中で、前回も少し触れましたが、事務局の方で多少編集をさせていただくことになろうかと思います。その点を含めて次回お示しができるかなというふうに思っておりますので、この点ですね、これまで御確認いただいた部分から、若干言い回し、示し方が修正になるということにつきまして、御承知おきいただければというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

会長職代 ありがとうございます。

今は、常任委員会からの御指摘があったということで、おっしゃっていただいたのですが、この審議会としても、これまでも單元ごとに、断続的にやっていっていますので、最初から本日に至るまでのところを一気通貫する形で読み取りやすい、そういう編集は当然していただきたいというふうに思いますので、議会の方の答えに合わせて、私ども自身が理解できるように編集の方を進めていただきたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか。

(委員了承)

会長職代 それでは議事録について、事務局から御発言がありますので、よろしくお願いいたします。

事務局 議事録についてです。

議事録については、第1回審議会にて、発言に係る委員の個人名は記載せず、“会長”“委員”“事務局”等で記載すること、発言の要約は行わないことを御確認いただきました。

なお、公開は、委員の皆様にご確認いただいた後にホームページで公開することとしております。

前回の議事録については、一度委員の皆様にご確認いただき、本日、資料5として案を示させていただきます。

本日ここで御確認いただきましたら、公開したいと考えておりますが、この内容で御確認いただいてよろしいでしょうか。

(委員了承)

事務局 ありがとうございます。本日の議題は以上となります。先ほど申し上げましたが、本当に1年かけまして概ねの柱の御審議ありがとうございました。

次回の審議会は、1月 31 日(金)午前 10 時からの開催を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。繰り返しとなります。一定の計画書のような形のものをお示しできるように作業を進めてまいりますので引き続き御協力をお願いいたします。

事務局からは以上です。

会長職代 どうもありがとうございます。急遽のことでしたので、代役で進行を務めさせていただきまして、御協力いただきましてありがとうございました。年内最後となりますので、少々早いですけれども、皆さん良いお年をお迎えください。

以上で、第6回鎌倉市総合計画審議会を終了します。

皆様、ありがとうございました。

以 上